

七北田川河口付近の津波堆積物 その2

■七北田川河口付近の津波堆積物 その2

前回の七北田川河口付近の津波堆積物を確認した場所より、七北田川上流の河原で津波堆積物の確認をした (Fig.1)。以前は、表面に堆積のようすが見られたが、雨による七北田川の増水で表面の堆積層のようすが確認できず、0.8mほど掘り下げ堆積層のようすを確認した。堆積層は砂質で0.2mほど掘ると層の色が青く変化した (Fig.2)。さらにその層を0.3mほど掘ると泥質になり、葦の茎やビニル片などを含んだ黒い層になった。この黒い層は津波以前の河原の地表面ではないかと考える。Fig.3はこれらの地層をはぎ取ったものである。中央の青い層にはラミナ (葉理) と考えられる模様も見ることができる (Fig.4)。



Fig.1 はぎ取り標本採集場所 (津波以前の地形)



Fig.2 標本を採集した地層のようす

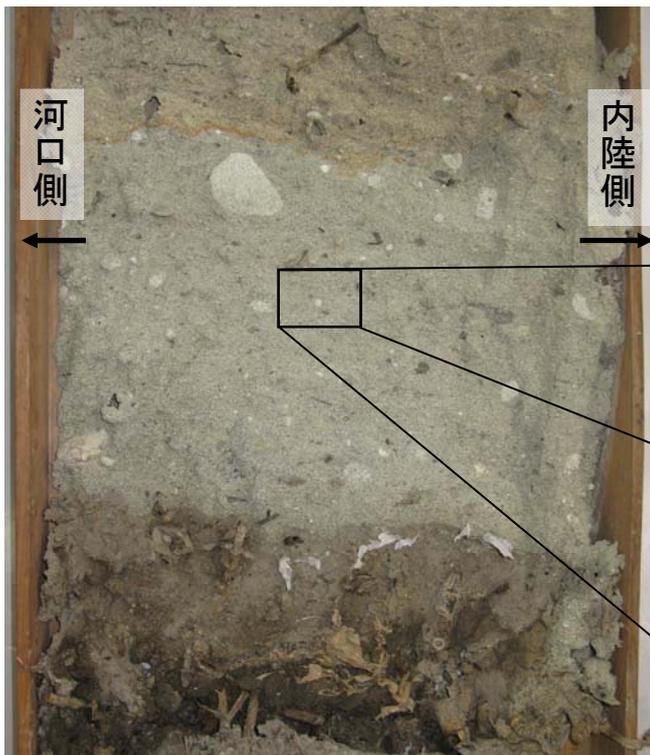


Fig.3 はぎ取り標本



Fig.4 はぎ取り標本に表れたラミナ (葉理)

(花田 義輝)